
ある平和な村の、平和な物語

C a i n

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある平和な村の、平和な物語

【Nコード】

N3896T

【作者名】

C a i n

【あらすじ】

モンスターに進入に悩まされているケベル村で、村人を守るべく、勇者が誕生する。その正体とは・・・？

第一話 勇者誕生

ここは小さな村、ケベル村。近くを山に囲まれ、その向こうに王都パリスが見えるこの村は、モンスターに度々襲われることがあったりなかったり、モンスターのせいにすれば犯罪が軽くできたり……まあ平和(?)な村だった。

この村には、かつて腕利きの勇者がいた。しかし、その男が金目当てで王都に行ってしまった以来、少数の衛官が、モンスターの侵入を防いでいる現状で、村人たちはいつもモンスターに怯えながら生活していた。

人口が少ないこの村では、みんなが支え合って生活していた。そんなケベル村で、ただ一人、貴重な男がいた。

その男の名前は、ジョンといった。なぜ彼が貴重であるのか。

それは、彼の仕事が「自宅警備員」であつたからだ。この村で働いていないのは彼だけとあつて、とあるちょっとした理由で尊敬、尊重されている。

そんな彼の一日の始まりは、彼の母親との、以下のような会話から始まる。

「いい加減起きなさいっ、ジョン！　もう朝の十時よ！」

「うるせえ！　どのみちずっと家にいるんだから、いつ起きてもいいだろうが！」

「なに開き直ってるの！ そろそろ働こうなんていう気は起こらないの！？ 家の家計も楽じゃないんだから！」

「今さらこの俺が仕事しますなんて言ってみろ！ 近隣の奴がシヨック死するかもしれないぜ！」

「そんなわけないでしょうが！ 何にしろ早く起きなさい！ 長寝は体に悪いんだよ！」

「ちえ、わかったよ」

そして、これから三十分ほどかけて着替えを済ませ、自宅警備員としての警備を開始するのだ。

さて、なぜこんな奴が尊敬、尊重されているのか。答えは——簡単だ。

実は、前述した勇者様も、勇者になる前は自宅警備員であったのである。彼は、九年間自宅警備員として経験値を貯めて、勇者へとランクアップしたのだ。

そして、ジョンは今年、自宅警備員六年目になる。まだあと三年ほど残っているのだ。

しかし、そんな状況の中、ここ最近、モンスターの動きが活発になってきた。そこで、なるべく早く、モンスターを倒す勇者になってもらうべく、村人たちは、ジョンを優遇し、できるだけ経験値が早く貯まるような措置をとった。

さてさて、ここまで書けば、誰がこの物語の主人公か、賢明なる読

者の皆様にはお分かりになったろう。もちろん、彼、ジョン――
――の母親である。

「え!？」 ジョンじゃないの?」と思ったその読者。読みが甘かったな。さすがに、三年近くは待てないでしょ、村人にしても、この物語にしても。

自分の子供が勇者になるのはまだ先だと考えた母親は、恥さらしで役たたずな息子に変わって、自分が勇者になって、村を守ろうと思ったのである。

そして、彼女が勇者になる↓息子は勇者になる必要ないんじゃない? ↓「働けこのバカ息子が!」という流れで、前述の会話のように、働けと説得しているのだ。

こうして、なんやかんやで、ケベル村に名を残す、伝説の勇者の物語が始まった! のである。

――あ、書き忘れていたが、ジョンの母親の名前は、確か――キャサリンである。

>次回予告(仮)<

ついに勇者となったキャサリン。その高すぎる運動能力を武器に、数々のモンスターと闘っていくうちに、気づけば魔王と闘っていた! 果たしてキャサリンは勝つことが出来るのか!? そして、ジョンの正体は!? そして、知られざるケベル村の黒歴史とは……!?

次回、『ある平和な村の、平和な物語』第二話、『キャサリンの挑

戦』、お楽しみに！

※この次回予告はあくまで（仮）です。内容が大幅に変更することもあります。ご了承ください。

第一話 勇者誕生（後書き）

初めての連載です。また、この作品は、私が人生で始めて書いた長編小説でもあります。文章が下手ですが、次回も見ていただくと嬉しいです。

また、次回予告は、次回作とはほとんど、もしくはまったく関係ありません。ご了承ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3896t/>

ある平和な村の、平和な物語

2011年10月8日21時14分発行